

2023年度(令和5年度)保育所における自己評価

清泉愛育園(津園)

※今年度の本園の保育・教育全般を総合的に評価し、次年度の保育計画に活かせるような内容で評価します。

[記入方法]

A(大変良い)、B(良い)、C(一部検討を要する)、D(改善を要する)の4段階で評価します。項目ごとに、意見・改善策を記述します。

【1】保育内容に関する評価

項目	内容	評価				意見・改善案
		A	B	C	D	
保育内容に関する評価	(1) 保育所職員らが、すべての子どもについて、一人ひとりの存在とその人権を尊重していますか	○				尊重できるように配慮している
	(2) 保育所職員らが、日頃から、子どもに身体的苦痛を与えたり、人権を辱めたりするなど精神的苦痛をあたえることがないようにしていますか。	○				虐待のニュース等もあり以前よりしっかりと考えて行動するようになった。
	(3) 個人情報の保護に配慮し、子どもやその家庭についての秘密を正当な理由なく漏らすことがないようにしていますか。	○				
	(4) 職員らは、子どもの家庭状況は多様だという考えの上で、今、その子に何が必要か見極め、それぞれにとって適切な援助をしていますか		○			現状も細やかに対応できているが、見極める事の難しさを意識するため(A)を控えた。家庭状況を配慮しつつ今後も援助したい
	(5) 子どもと一緒に思い切り体を動かして遊ぶことの重要性を理解し、楽しんでいますか。		○			担任の業務によっては、一緒に遊びにくい場面がある。改善すべきところを検討する余地あり。
	(6) 職員それぞれが、一人ひとりの子どもに目が行き届いていたか振り返り、これからの保育の課題をみつけることができますか。		○			振り返りの機会が少ないように感じる。振り返る機会を持つのがなかなか難しい事もあるが、少しの時間でも話し合える場が必要。日誌等で今日の振り返り、反省の場面、が無い現状も。
	(7) 職員らは、指導計画を作成するとき、「保育所保育指針」を読み、参考にしていますか。			○		指導計画を作成している職員全員ができているかという課題。参考にはしているが常に見ているわけではない。今後さらに読み込んで欲しいという希望も(半年後どういう取り組みかできたかが重要)
	(8) 職員らは、保育園の方針である保育計画をもとにして、指導計画を作成していますか。		○			園の保育計画は必ず確認している
	(9) 職員らは、子ども一人ひとりの発達の姿や興味の対象を把握して、月・週・日案などを作成していますか。	○				行事日案は今年度よく立てているが普段の日案については改善点あり

保育所の保育に関する評価

	(10)各クラスにおいて、月・週・日案などには、子どもの意欲を誘う環境構成が十分工夫されていますか。		○		各クラスもう少し工夫が欲しい。 (時期によってあそぶ玩具や絵本を入れ替えたりする等)
	(11)複数担任の場合、よく話し合ってお互いの考えを十分に理解した上で、月・週・日案などを立てていますか。		○		
	(12)月・週・日案などが、実際の子どもの姿、興味・関心に合っていたかという視点から職員自ら保育を評価・反省していますか。		○		日々の保育の振り返りが少ないように感じる。保育書類書式の改善も検討最中。
	(13)職員らは、月1回以上、指導計画の点検・評価を行い、その結果を次の指導計画に生かしていますか。		○		現状もできているが、より定期的に点検・評価する機会を設けることもできるのでは
特別な配慮及び健康管理	(1)園児らの発育・発達状況を把握し、職員全体で情報を共有することで、日常の保育にいかせていますか。		○		全体をきちんと把握できているか？ 全体となると不安になる方もいたため
	(2)食物アレルギーなどの子どもに対して、医師の指導のもと、適切な対応をしていますか。	○			調理：除去食・代替食、配膳時にも別ケース、名札を使用、クラスでも別の机を使用。
	(3)日頃から問題の早期発見を心がけ、虐待や家庭内の問題などが疑われる場合は、園長や主任、専門機関と連携を取りながら適切に対応していますか。		○		専門機関と連携を取りながら、しっかりと対応できている。
	(4)特別な配慮がある園児に対して、園内で情報を共有し、専門機関と連携を取りながら対象園児への理解を深めるような取り組みをしていますか。	○			専門機関と連携を取りながら、しっかりと対応できている。
	(5)園内の感染症対策を職員らが理解し、実践できていますか。	○			
清泉愛育園の保育	(1)清泉愛育園の保育理念を理解し、保育理念を実現できるような保育計画を立て、日々の保育を行っていますか。		○		
	(2)異年齢保育の中で思いやりのある心を育て、園全体で豊かな人間関係が築けるような保育環境を設定していますか。		○		異年齢で関われるところがまだ少ないので、これから増やしていきたい
	(3)園全体で家庭的な雰囲気の中で自己肯定感を育む保育をしていますか。(自己肯定感を育む工夫を保育計画に入れていきますか)		○		自己肯定感を育む保育環境については、より改善できることもあるのでは。
	(4)園全体で生きる力を育むための保育環境を整えていますか。また、生きる力を育むことで「自立心」を養うことができているですか。		○		年齢に合った、「生きる力」や「自立心」を養う環境を整えていきたい。生活習慣や遊びの中で身に付く力を伝えていく余裕が無い場面がある。保育環境を整える難しさも。
	(5)幼児期に「自分で考え行動できる子」に育てるための保育内容を実践できていますか。		○		「○○していいですか？」と許可を求める子の姿がある。保育者の声掛けを検討し実践中。

目標・方針に関する評価	(6)園児が葛藤を経験したり、失敗や困難に直面したりする際に、自ら立ち向かおうとする力を導き出していますか。		○			
	(7)クラス友人や異年齢の仲間と共に育ち合う保育環境を実現していますか。		○			
	(8)園全体で「対話」を大切にしてい、人との対話を楽しむような保育や人の話を最後まで聞けるような指導をきちんと行っていますか。		○			
	(9)体力づくりのための活動を保育内容に取り入れていますか。		○			スイミング・体育指導など取り入れている
	(10)園の食育方針を理解し、食べものを大切にする「共食」「植食」を保育内容に取り入れていますか。	○				園庭での栽培、デイキャンプでの調理など。
	(11)世界の文化や情勢にも目を向け、「世界の子どもと手をつなげる」ことができるよう保育内容に取り入れていますか。		○			英語教育などを取り入れることで、異文化交流へのきっかけを作っているの、今後は世界の文化を知る機会が増えてほしい。そして、それを保育に取り入れることも必要。

【1】保育所運営に関する評価

項目	内容	評価				意見・改善案
		A	B	C	D	
分掌・体制	(1)能率的、合理的な運営組織になっているか。	○				理事・行政書士 監査 事務的な面からみるとAという判断
	(2)職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。		○			
	(3)職員の配置は適材・適所か。		○			
	(4)係や仕事の分担・割り当ては適切か。			○		幼児の業務(折り紙・壁面)が多いさらに上手な割り振りを望む。 先生たちの負担を平等にする方法があるのか。 係・分担など再考したい。 乳児・幼児の仕事量、書類面など均等でない点もある
会計	(1)各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	○				経理規定に基づいて行っている。
経営・組織	(1)個人面談がきちんと行われ、人事評価が適切に行われているか。		○			
	(2)保育士や職員の自己評価がきちんとできるように、サポートがなされているか。		○			自己評価自体が難しい(個人差、判断さがどうしてもあるので)基準などが必要
	(3)自己評価内容が保育の質向上に反映されているか。		○			

自己評価	(4) 保育所の自己評価のために、第三者(専門家・保護者・地域住民)からのフィードバックを受けているか。		○		保護者アンケート等を活用して自己評価をしている。 今年度はキャリアカウンセラーを招いてより客観的にフィードバックを受けることのできる「キャリア学」を利用している。
	(5) 保育所の自己評価を職員全員の共通理解の元で行われているか。		○		自己評価の必要、重要性をもっと啓蒙していくべきと考える。
運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。	○			話がまとまらない場面がある為、ある程度事務所の先生方でまとまった意見を指示として出してもらえただけとありがたい。
	(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。		○		
	(3) 打ち合わせ回数、時間、内容は適切か。		○		
所内研究・研修	(1) 所内研究がなされているか。		○		ミーティング・チャイルドカンファレンス等 チャイルドカンファレンスや10の姿をふまえたドキュメンテーション作成して研究を深めている
	(2) 所内研究の主題は、保育目標の具現化につながるものであるか。		○		
	(3) 所内研究の計画・運営は適切か。		○		
	(4) 研究の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の保育内容・育ちに反映されているか。		○		
	(5) 研究の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか。		○		
	(6) 園内研修の計画と運営は適切か。		○		平日の研修は難しいのか？シフト上厳しいため、どうしても土曜日の研修になってしまう。 チームワークの必要な職種だからこそ、みんなで研修したいが、みんなが集まるというのは園が休みのタイミングしか作れない。難しい問題。
外部研修	(1) 各種研究会、研修会、講演会への参加態勢の充実を図っているか。	○			
	(2) 各種研究会、研修会、講演会での内容を所内に還元しているか。		○		コドモンにて研修報告書有 もっとみてもらう、周知する
情報管理	(1) 乳幼児や保護者に関する個人情報 を適正に取り扱っているか。	○			
	(2) 公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。	○			
	(3) 各表簿は適切な時間・方法で作成・処理されているか。	○			

理	(4)パソコンやタブレット(各種システムやコードにも同様に)パスワードを設定し、使用しない時は施錠管理される場所に保管されているか。	○				鍵のかかる所へ保管できている
施設設備	(1)施設内外・設備の安全点検を計画的に行なっているか。	○				安全点検簿(朝、夕)
	(2)遊具・用具などを活用しやすいように整理・保管しているか。	○				
	(3)不審者などに対応する周知な配慮を行なっているか。	○				今後、訓練を予定し、必要な配慮の見直しを行う。訓練実施予定職員の役割共有を4月に行うとよいのでは。
	(4)掲示板・掲示場所などを適切かつ効果的に活用しているか。	○				
施設間交流・連携	(1)他施設との年間交流計画は、保育目標や課題にそったものになっているか。	○				小学校交流、中学生職場体験を実施している
	(2)他の施設の職員同士が、研修や交流の機会を持って、互いの保育・教育に対して理解を深め相互にアドバイスできるような関係を構築できているか。		○			
	(3)他の施設と日常的に情報交換をし、それを交流活動に生かしているか。		○			近隣小学校と交流するなど、情報交換をしている
家庭・地域との連携	(1)保護者などに保育参観日を設定しているか。	○				・幼児にはない。 ・乳児は今年度行う予定。 ・今年度より再開。
	(2)保護者を含む地域の人材活用をしているか。	○				花育、人権教室、交通安全教室等
	(3)地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。	○				津まつり、赤い羽根共同募金などに参加していて、地域の文化や生活に触れている。
	(4)地域住民などを巻き込んだ行事などを行っているか。		○			近隣への挨拶まわり コロナ禍でなくなった物の再開を検討
開かれた保育所づくり 子育て支援の推進	(1)地域の子育てセンターとして、園の開放をしているか。	○				にこにこ広場(今年度は7回)を開放している
	(2)地域に住む子ども同士、あるいは親子と一緒に遊ぶことができるような場の設定を行っているか。	○				
	(3)「子育てについて」など、保護者を対象にした学習の機会を設定しているか。	○				・教育講演会、今年度より再開。 ・教育講演会の実施はしたが、中々参加はしにくいようだった。
	(4)職員による「子育て相談」は充実しているか。	○				
	(5)医療機関・児童相談所などの専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供している。	○				
情報	(1)保育所だより・クラスだより・ホームページなどで施設の情報を発信している。	○				

